

町民スケート・スキー大会開催
元気な滑りに応援と拍手がいつぱい

今年も、第31回冬季町民スケート大会と同スキー大会が開催されました。
1月26日、厳しい寒さの中の開催されたスケート大会は、津別小学校内の町民スケートリンクで、町内の小中学生と一般の方45名が参加し、100mから1000mまで5種目のスピード競技とチーム対抗リレーに挑戦しました。子どもたちは大きな声援を受けながら自己記録更新を目指し、元気いっぱい滑っていました。
スキー大会は、2月3日、町民スキー場で町内の幼児と小学生21人が参加し、町民スキー大会が開催されました。今年は雪不足のため大会コースは200mに設定されましたが、子どもたちは上位を目指し、一生懸命滑っていました。また、除雪スコップで重りを飛ばす雪かき選手権が行われ、会場からは笑い声が飛んでいました。



上位を目指して元気に滑る子どもたち



恒例の雪捨て選手権。大人の子どもも楽しみました

友好が続く船橋市との寄付金を活用
まちを彩るイルミネーション点灯式

1月25日、旧佐々木病院の前庭でイルミネーションの点灯式が行われ、佐藤多一町長と津別保育所の橋爪彩乃ちゃん（5歳）がスイッチを押すと青や赤、緑の艶やかなイルミネーションが輝き、会場を訪れた80人の歓声が響きました。
今回のイルミネーションは津別町と交流が続く千葉県船橋市の船橋市ポートライオンスクラブからの寄付金25万円を活用し、街並づくり推進協議会などが中心となって5mから6mのポール3本にツリー状に設置しました。街並みづくり推進協議会の佐藤久哉会長は、今後はスポンサーを見つけてイルミネーション公園にしていきたいと話していました。



街並みづくり推進協議会の佐藤久哉会長は、今後はスポンサーを見つけてイルミネーション公園にしていきたいと話していました。

townics

まちのわだい

楽しいゲームが盛りだくさん！
歓声が溢れた子ども冬まつり

2月9日、津別小学校の小グラウンドでこども冬まつりが行われ、大勢の子どもたちが寒さに負けず、冬の1日を楽しく過ごしました。
会場内では雪玉標的落とし、雪上サッカーや長くつ飛ばしなど楽しいゲームがめじろ押し。人気の氷柱だきつきには長蛇の列ができ、高さ2m直径30cmの氷柱から落ちないように必死に抱きつきタイムを競っていました。数秒で落ちてしまう児童もいる中、冷たさに耐えながら10分以上も頑張る児童もいてみんなを驚かせていました。
テント内にはやきとりやいもち、温かい飲み物が用意され、お昼はお母さんたちが作ったおいしいカレーライスを笑顔で食べていました。



がちりと氷柱に抱きつく子どもたち



力いっぱい長靴を飛ばしました

空高く飛行機を飛ばそう
小学生27人が科学の体験



1月26日、農業者トレーニングセンターなどで科学の体験（子ども会育成連絡協議会主催）が行われ、27人の小学生がヘリコプターやプロペラ飛行機作り挑戦しました。
講師の橋本大教頭先生（元津別小学校）から、「飛行機はなぜ飛ぶのか」について大型扇風機などで実験した後、低学年はヘリコプター、高学年はプロペラ飛行機を作製子どもたちは羽根にデザインを書き込みオリジナルの飛行機を完成させた後、みんなでゴムを巻いて何度も飛ばして遊びました。参加した子どもたちは「とても楽しかった」「遠くまで飛んだのでうれしかった」と笑顔で話してくれました。

町内の料理人が腕を振るう
おいしいちゃんの料理教室開催



65歳以上の男性を対象にした「おいしいちゃんの料理教室（社会福祉協議会主催）」が2月6日（3回日程）から町民会館調理室で開催されました。この教室は料理の作る楽しさと交流を図ることを目的に毎年実施されています。
初日は、サバの味噌煮、えびのすりみ汁など4品の料理に挑戦した11人のおじいちゃんたちでしたが、栄養士と赤十字奉仕団の協力と日頃鍛えた包丁さばきで美味しい料理を完成させました。13日はジャージャー麺、20日にはスパゲティーに挑戦。エプロン姿のおじいちゃんたちは今年も新たにレパートリーを増やしました。

2月6日、中央公民館で津別町手をつなぐ育成会（福井全雅会長）によるもちつき体験学習が行われました。今年で3年目の体験学習は、町内3校の特別支援学級の子どもたちにいるいるな体験から生活の向上を目指すことを目的に、パン作りなども毎年実施されています。
8人の児童生徒は、自治会関係者や保護者の協力を受けながら、もち米6キロを元気いっぱいつきました。つきたてのおもちは雑煮、お汁粉、きな粉もち、みたらしもちにしてみんな笑顔いっぱい食べていました。



おいしいおもちができました
手をつなぐ育成会に多くの協力

2月2日、中央公民館で高齢者の虐待防止講演会が開催され、講師の石川秀也さん（北海道医療大学教授）が「高齢者の虐待防止に向けて」をテーマに講演しました。
石川さんは各地で発生している多くの虐待事例を紹介し「全国で約1万2千件が虐待と判断されたが実態が分からないのが現実」と話し、虐待防止と対応は民生委員や自治会の訪問や声かけ、相談や支援を行う在宅福祉サービス、法律に沿った対応ができる警察や弁護士などの3つのネットワークを紹介しました。会場を訪れた80人の方は高齢者虐待防止について一層の理解を深めました。



皆さんの力で価値ある実践を
高齢者の虐待防止講演会開催



夫婦なかよく手を寄り添って
長寿夫婦の集いに48人が参加

1月30日、町民会館で長寿夫婦の集い（社会福祉協議会主催）が開催され、合計年齢140歳以上の夫婦48人が、おいしい料理とゲームをしながら交流を深めました。
チーム対抗のスカットボールでは優勝チームに豪華賞品が贈られるなど多に盛り上がりしました。ゲームの後は、昼食の寄せ鍋やのり巻きなどを食べました。みんなと食べる楽しい食事に、会話も弾みました。夫婦65年目を迎えた柏町の高松達さん・キミさんは「大切なのは人との交流。そしてお互いに助け合うことです」と夫婦円満の秘訣を話してくれました。